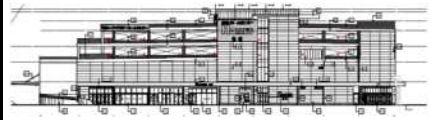


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)島忠所沢小手指計画(期)	階数	地上4F
建設地	埼玉県所沢市青葉台1326-1 他35	構造	S造
用途地域	準工場地域、防火指定なし	平均居住人員	800 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,500 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 竣工	評価の実施日	2018年11月9日
敷地面積	25,314 m ²	作成者	岡本 正光
建築面積	7,006 m ²	確認日	2018年11月9日
延床面積	18,935 m ²	確認者	五洋建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 接道部には可能な限り緑地を配置し、周辺の景観に配慮した。 外壁にALC板、屋根に断熱施工することにより建物の熱負荷低減に配慮した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 外界から熱的侵入の抑制。	Q2 サービス性能 ゆとりのある空間を提供。 長寿命な部品・部材の採用。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地を設け、周辺地域及び建物利用者への景観形成に配慮した。 敷地境界は見通しの良いフェンスとし防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー 外壁にALC板、屋根に断熱施工することにより外部からの熱負荷を軽減している。 高効率空調設備、LED照明器具の採用。	LR2 資源・マテリアル 大便器、小便器、洗面器に節水器具を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器の使用不可により大気汚染防止。 駐車場への出入口を分けることにより、渋滞緩和に努める。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS (仮称)島忠所沢小手指計画(期)		使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)				
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
0 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.37		-	2.7
1 音環境		2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能		-	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-		-	
1.3 吸音		1.0	0.20		-	
2 温熱環境		2.0	0.35		-	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 室温		3.0	0.47		-	
2 外皮性能		3.0	0.19		-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.34		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-	
2.3 空調方式		1.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.51		-	
1 昼光率		-	-		-	
2 方位別開口		-	-		-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策		-	-		-	
1 昼光制御		-	-		-	
3.3 照度		-	-		-	
3.4 照明制御		3.0	0.49		-	
4 空気質環境		3.6	0.25		-	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	ほぼ全面的に建築材料(F)を採用	4.0	1.00		-	
4.2 換気		3.5	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.50		-	
2 自然換気性能		-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮	各種排気口と6m以上離れて設置	4.0	0.50		-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能		-	0.30		-	3.1
1 機能性		2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性		-	-		-	
2 高度情報通信設備対応		-	-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30		-	
1 広さ感・景観	売場天井高:3.5m	4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33		-	
3 内装計画		1.0	0.33		-	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP(B)、給湯:SUS(C)、排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性		3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30		-	
1 階高のゆとり	物販店舗階高4.9m	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.04	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	

Q3 室外環境(敷地内)			-	0.33	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		1.0	0.14	-	-	1.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.11	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.76	3.6	0.53	-	-	3.6
4	効率的運用		3.0	0.21	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	水栓:自動水洗 大便器・小便器:節水器具を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床にビニル系床材	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材(断熱材無)で分別が容易	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない						
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器の使用不可	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	駐車場の出入り口を分けることにより、渋滞緩和						
3	周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0	0.70	-	-	
	2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)島忠所沢小手指計画(期)	BEE	1.0	BEEランク
------	------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	3.0	=	6.7	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 		すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.7
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
< 配慮した内容を記述 > LCCO2排出率81%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 敷地内に緑地を設け、周辺地域及び建物利用者への景観形成に配慮した。 燃焼設備設置していないことにより、敷地内の暑熱環境を緩和している。			

: 入力欄